株式会社　テレビ岩手

「民間放送ガバナンス指針」の適用について

■はじめに

日本民間放送連盟が示した「民間放送ガバナンス指針」に基づき、私どもの取り組みについてお知らせいたします。

株式会社テレビ岩手は、国民共有の財産である電波を預かり、岩手県内での民間放送業として1969年に開局して以来、放送事業・公益事業を展開してまいりました。
この間、視聴者である県民お一人お一人に寄り添い、健全で役立つ生活情報や、日々発生する様々な出来事を迅速かつ丁寧に取材し、わかりやすくお伝えすることに徹してまいりました。

また、2011年の東日本大震災で大きな被害を受けた被災県の放送局として、その復興を後押しし、被災された方々の心・生活・未来を、共に考える報道を継続して行ってまいりました。その記録をまとめたドキュメンタリー番組「たゆたえども沈まず」は、文化庁芸術祭のテレビ・ドキュメンタリー部門で最高賞を獲得するなど、ローカル局ならではの地域に密着した報道姿勢が高く評価されたものとなりました。

今、放送を巡る環境が大きく変わろうとしています。ここにあらためて、私どもの放送への考えや取り組みを広く知っていただき、公平・正確な情報を発信するメディア企業として、県民の皆様の信頼をさらに強固なものにするため、これまで以上に全社一丸となって社業を磨き上げていく所存です。

1. 私たちの信条と企業理念

「信条」（私たちの日々の事業行動や判断指針）

〇公平・正確

公平・正確な情報や多様な文化を届け、地域の発展と文化の向上に尽くす。

〇良心・自由

高い倫理観をもち、明るく、自由な発想で地域の発展に寄与する番組制作や事業を展開する。

〇公正な発展

公正な商取引や適正な広告表現を順守し、地域経済の発展に尽力する。

〇安心・迅速

災害などの発生時には、県民の生命・財産・安全を最優先に、迅速な取材・放送を行う。また取材・放送業務に関しても安全確保に配慮する。

「企業理念」（長期的ビジョンや使命）

〇岩手県民にとって一番身近で役立つ総合メディア企業を目指します。

〇公平で正確な取材・報道を通じて県民から信頼されるメディアであり続けます。

〇多様な文化・スポーツ事業を提供して県内外からの「交流人口」を増やし、地域を盛り上げます。

〇地域の情報を複数のメディアを活用して広く発信いたします。

〇会社の全従事者が、気持ちよく、充実して働く職場環境を構築します。

2. 私たちの企業活動

＜企業イメージ＞

■テレビ岩手は 2019 年の開局 50 周年を機に会社ロゴマークやキャッチコピーを一新しました。ロゴマークは、「テレビの枠を超えて、地域に情報や文化を発信する」イメージをデザインし、しっかりと下側が太くなっている「TVI」をテレビの枠が囲み、電波塔にも見える「i」の文字が枠からはみ出している様子を表現しています。

またキャッチコピーは「TV&I」として、「I」は IWATE の「I」、愛の「I」、わたしの「I」など、「いろんなアイがここにある」というメッセージを込めています。

CM やポスターではさまざまな人の顔をデザインしたキャラクターが登場。企業カラーをビビットなオレンジとして、多くの人がテレビ岩手と関わる様子を表現しています。

＜番組制作＞

■テレビ岩手では、日本テレビ系列局として、キー局からの番組はもちろんのこと、自社制作番組を多数制作・放送しています。（2025 年度の自社制作比率は 10.1%）毎月、視聴者による番組モニターも行い、皆様からのご要望やご指摘を真摯に受け止め、日々の番組に生かしております。

〇レギュラー番組（10 分以下の番組除く）

「5きげんテレビ」	月～木 16:45-17:53　金 15:50-17:53
「ニュースプラス1いわて」	月～金 18:15-18:54
「ねだら X（エックス）」	月～金 2559-26:14
「5きげんどようび」	土 09:55～10:25

「ぼくのケツは青い」　　土 25:25-25:40
「ピノキオ・サンセット」　　日 16：55-17：25

〇単発番組（2025 年度）
「安比リレーマラソン」
「盛岡シティマラソン」
「5きげんテレビゴールデン」
「ダイドーグループ日本の祭り」　　など

〇番組モニター
岩手県民から公募した番組モニターに、毎月番組に関するご意見・感想を提出頂いております。モニターは4月期と10月期にそれぞれ10名が改変されており、より広いご意見を収集できる仕組みとなっています。

＜事業への取り組み＞
■テレビ岩手では、皆様にご来場いただき楽しんでもらう「イベント事業」と、県や市町村など公的機関から委託を受けて実施する「プロポーザル事業」に積極的に取り組み、岩手県民の文化・生活の向上にお役に立てるよう取り組んでおります。
＜イベント事業＞
〇レギュラー事業
「5きげんお取り寄せグルメまつり」（2026 年 5 月）
「いわてコーヒーフェスティバル」（2026 年 5 月）
「チャグチャグ・ロックフェスティバル」（2026 年 6 月）
「リトルママ・フェスタ」（2026 年 7 月）
「出光イーハトーブトライアル」（2026 年 8 月）
「安比リレーマラソン」（2025 年 9 月）

〇単年度事業（2025-2026）
「ディズニーアニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス」（2025 年 2 月～6 月）
「読売日本交響楽団　演奏会」（2026 年 3 月）
「テレビ岩手春祭り」（2026 年 4 月）
「ALL OF EVANGELLION 展」（2026 年 7 月）
「プロ野球公式戦　巨人-ヤクルト」（2026 年 7 月）
「食品サンプル展」（不定期開催　2025 年度は山形・秋田等で開催）
　　他・・・
＜プロポーザル事業＞

「いわてアール・ブリュット巡回展」（2025 年度　岩手県受託事業）
「文学の国いわて　講演会・研修会」（2025 年度　岩手県受託事業）
「物価高騰賃上げ企業支援金給付事業」（2025-2026 年度　岩手県受託事業）
「社会福祉施設支援金給付事業」（2025-2026 年度　岩手県受託事業）
　など

＜東日本大震災からの復興支援の取り組み＞
企業として、報道機関として、地域社会に貢献する取り組みを行っています。
特に 2011 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災津波」については、被災した方々に寄り添い、その復興を後押しする番組や事業・キャンペーンを今も展開し続けています。
〇ドキュメンタリー番組「たゆたえども沈まず」
東日本大震災から10年となった 2021 年 3 月。それまでの取材した 1850 時間におよぶ膨大な取材記録の中から、被災から復興にむけて歩む沿岸地域の人々を再取材し、構成したドキュメンタリー番組です。この「たゆたえども沈まず」は 2021 年度文化庁芸術祭のテレビ・ドキュメンタリー部門で最優秀となる最高賞を受賞しました。テレビ岩手ではこの番組を映画としても制作し、その上映の益金を全額、岩手県に寄付しております。

〇桜ライン311
東日本大震災で多くの犠牲者を出した岩手県陸前高田市。その陸前高田の NPO 法人が津波到達地点に桜の苗木を植え、春に桜が咲くことで、将来にわたり津波被害を忘れずに伝承するとともに、景観の再興や避難への目印とする活動が「桜ライン311」です。テレビ岩手では、この趣旨に賛同し、社員有志がボランティアで、震災発生年の 2011 年 10 月の第一回植樹祭から毎年連続して参加し、桜の苗木を植えています。
この活動は日本テレビ系列で取り組む「24時間テレビ」からも支援を受け、植栽に使う道具や苗木等が NPO 団体に贈られています。小さな桜の苗木が大きく育ち、いつまでも人々の心の中に明るい花を咲かせることを目指して一緒に取り組んでいます。

〇復興支援キャンペーン 2026「再開」
2026 年 3 月で東日本大震災から 15 年が経ちました。多くの活動や組織が、15 年を節目に縮小していく中、テレビ岩手は被災県として復興支援は続けなければならないと決意。今年度も引き続き復興支援キャンペーンを展開しています。
復興支援で大切な事は「忘れないで語り継ぐ」こと。

被災したときに生まれた赤ちゃんは、すでに15歳となり、すでに震災時の記憶がありません。時間の経過とともにあの時の状況や教訓を忘れないよう、テレビ岩手では、取材・放送を続けることで、記憶の風化を防いでいます。

〇24時間テレビ　東日本大震災復興支援活動

東日本大震災からの復興では、24時間テレビが特別枠を設け全国からの寄付金を岩手・宮城・福島の3県に割り振り支援しました。テレビ岩手も岩手県内の窓口業務を務め、担当社員が沿岸被災地を丁寧に回り、多くの団体や地域の人たちからヒアリングし、24時間チャリティ委員会に報告、認められた項目が直接支援物品として、被災地域に贈られました。この中には、津波で漁船を失った方々への「アド・ボート支援」や、仮設住宅地でのコミュニティのための居場所づくりや手仕事活動支援。さらに小中学生が使う運動場に夜間照明設備を付けるなどの、スポーツ活動への支援など、様々な被災地域のニーズを汲み取った支援を10年余りにわたり行いました。
今なお、沿岸地域では、24時間テレビのシールが貼られた道具や設備が大切に使われています。

3. 職場環境を改善する取り組み

＜IRODORI プロジェクト＞

①社屋の有効活用、②人材の確保と資質向上、③制度・働き方の改革、の3つの柱で職場環境を改善していこうとする社内でのプロジェクト。年代・性別を問わず、理想の職場環境を作り上げいています。

＜人権尊重・ハラスメント防止の取り組み＞

テレビ岩手がこれまで取り組んできた「コンプライアンス指針（2007 年制定）」や「行動規範細則（2015 年制定）」、「妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規定（2007 年制定）」を一元化・アップデートして、2025 年に新たにまとめた「テレビ岩手人権・コンプライアンス指針」に基づき、人権の尊重や各種ハラスメント防止等に取り組んでおります。

ハラスメント・コンプライアンス違反等の通報窓口を経営企画局長と総務部長が担い、さらに社長への直接の通報も認めております。
また、社外での通報窓口として、2026 年 7 月に日本民間放送連盟が設置した外部相談窓口についても、全社員のみならず、テレビ岩手の社業に従事している関連会社社員や派遣社員などにも、その申し込み方法を告知しており、より柔軟で多様な窓口を設けて、スタッフのサポートを行っております。

4. コーポレート・ガバナンスについて

＜経営情報＞

企業理念	○岩手県民の一番身近で役立つ総合メディア企業を目指します。 ○公平で正確な取材・放送を通じて県民から信頼されるメディアであり続けます。 ○多様な文化事業を提供し県内外からの「交流人口」を増やし地域を盛り上げます。 ○地域の情報を多様なメディアを活用して広く発信いたします。 ○会社の全従事者が、気持ちよく、充実して働く職場環境を構築します。
資本構成	資本金　4億円 発行済株式数　800，000株
主要株主	1/10を超える議決権有する者と議決権比率（%） ①（株）読売新聞東京本社　18.76% ②（公財）日本テレビ小鳩文化事業団　18.63% ③日本テレビ放送網（株）　14.25% ④（株）朝日新聞社　10.00% 株主総数　19名
役員構成 2026年 6月18日現在	【常勤】 代表取締役社長　福士 千恵子 専務取締役　池田　学　経営企画・関連会社担当 経営企画局長 兼 技術局長　委嘱 専務取締役　遠藤　弦　編成・メディア戦略・グループ連携担当 取締役　小原 文幸　営業・事業・東京・大阪担当 営業開発局長　委嘱 取締役　小形 恵一　報道制作担当 報道制作局長　委嘱 【社外／非常勤】 取締役　山口 寿一　（株）読売新聞グループ本社　社長 取締役　杉山 美邦　日本テレビホールディングス（株）　会長 取締役　小苅米 秀樹　（株）ベルジョイス　会長 取締役　元持 雅行　岩手トヨペット（株）　社長 取締役　佐藤 健志　（株）東北銀行　頭取 取締役　吉田　満　読売テレビ放送（株）　常勤監査役 取締役　渡辺 哲哉　（株）朝日新聞　ネットワーク政策統括補佐役 【社外監査役】 監査役　岩山　徹　（株）岩手銀行　頭取 監査役　祖父江 憲治　岩手医科大学　理事長
役員数 2026年 6月18日現在	取締役 12人　男　11人（91.7%）　女　1人（12%） 監査役　2人　男　2人（100%） 合計　14人
職員数 2026年 4月1日現在	77人　男　60人（77.9%）　女　17人（22.1%）

＜直近の財務状況＞

財務状況

【損益計算書】 第60期（自2025年4月1日 至2026年3月31日）（単位 千円）

売 上 高	4,378,646
営業利益	18,421
経常利益	253,184
税引前当期純利益	252,098
当期純利益	166,964

【貸借対照表】（2026年3月31日現在）（単位 千円）

《資産の部》		《負債の部》	
流動資産	3,074,620	流動負債	856,372
固定資産	5,387,788	固定負債	419,230
		負債合計	1,275,602
		《純資産の部》	
		株主資本	7,019,492
		資本金	400,000
		利益剰余金	6,619,491
		評価・換算差額等	167,421
		純資産合計	7,186,913
資産合計	8,462,515	負債・純資産合計	8,462,515

＜番組審議会＞

番組審議会委員
2026年
8月1日現在

委員長	岩舘 めぐみ	会社役員
副委員長	菅原 和宏	会社役員
委員	中野 美知子	会社役員
委員	大森 健史	会社役員
委員	千葉 幸子	画家
委員	渡邉 里沙	会社役員
委員	立花 工	団体職員
委員	飯田 雄太	新聞社支局長
委員	阿部 英則	会社役員

5. テレビ岩手のガバナンス宣言

＜代表取締役社長 福士千恵子＞

岩手県に生まれた詩人・作家の宮沢賢治は、ふるさと岩手を重ねた架空の理想郷を作品の中で描き、イーハトーブと名付けました。時代は変われども、この地にはいまも豊かな自然、温かい人のつながりが育まれています。
私たちはこの地域に生き、この地域とともに歩む放送局として、正確な情報発信と公正な判断、自由・自立を旨とする思考と行動、あらゆる人権の尊重と法令の遵守を基本姿勢とします。長年培ってきた地域社会の皆様の信頼こそが私たちの最大の財産であると心に刻み、健全で透明性の高い経営と責任ある放送事業を通じて、イーハトーブの未来に貢献してまいります。